

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり	施策	③ 文化財の適切な保存
			施策の小項目名	○指定文化財の適切な保存・活用
主な取組	首里城復旧・復興事業			
対応する主な課題	③「琉球王国のグスク及び関連遺産群」をはじめ、沖縄の先人たちの英知が刻まれた貴重な文化財を適切に保護し、後世に引き継いでいくことが重要な課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
当該事業は、首里城復興基本計画に基づく首里城復興を推進するための事業である。 実施主体 県 担当部課【連絡先】 土木建築部都市公園課 【098-866-2035】		H29	H30	R元	R2	R3
					再発防止検討委員会の開催	
					仮設施設の設計・整備	
					利用・展示等に関する検討	

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○R2年度	○R3年度
県単等	委託					147,190	58,266	県単等	国等各関係機関との調整、火災の再発防止策の検討、首里城利用運営の検討、仮設展示施設や映像設備の設計・設置等を行った。	国等各関係機関との調整、火災の再発防止策・管理体制の検討、首里社地区整備基本計画の検討、中城御殿跡地整備の検討等を行う。

予算事業名							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○R2年度	○R3年度

活動指標名	再発防止策の検討、仮設展示施設等の設置				R2年度			R2年度決算見込額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B	147,190	順調	第三者委員会による首里城火災に関する再発防止策等報告書がとりまとめられた。また、城郭内に火災残存物や復元のあゆみ等を紹介できるよう、首里城復興展示室や大型映像設備(世誇殿)を設置した。 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 国等の関係者と調整し、計画通りの検討や仮設施設の整備を行えたため「順調」である。
					検討・設置	検討・設置	100.0%			
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			

(2) これまでの改善案の反映状況

令和2年度の取組改善案	反映状況

様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・本事業の計画となる首里城復興基本計画が令和3年3月に策定されたので、その計画期間の設定や目指す将来像の実現に向けて、事業進捗を図る必要がある。

○外部環境の変化

・国が令和2年3月に策定した首里城の復元工程に合わせ、関係機関や地域住民等との連携・協働して、事業進捗を図る体制構築が求められている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・令和2年度に着手し、令和3年3月に首里城復興基本計画が策定され計画期間の設定が行われたので、令和3年度は、有識者や関係機関等で構成する検討委員会を設置し、今後の取組や体制構築について検討する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・令和3年度の検討委員会の意見をもとに、火災の再発防止策や首里社地区の整備計画、中城御殿跡の整備計画の策定と体制構築に取り組む。

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり	施策	③ 文化財の適切な保存
			施策の小項目名	○指定文化財の適切な保存・活用
主な取組	首里城公園活性化推進事業			
対応する主な課題	③「琉球王国のグスク及び関連遺産群」をはじめ、沖縄の先人たちの英知が刻まれた貴重な文化財を適切に保護し、後世に引き継いでいくことが重要な課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
首里城正殿等の火災及び新型コロナウイルスの影響を受け首里城公園全体として来園者が大きく落ち込んでいるため、消失した正殿等の再建に向けた適切な情報を発信、首里社館の整備を行い施設の利便性向上、イベントの実施により首里城復旧・復興に向けた機運を高め、公園来園者の増加に繋げる。		H29	H30	R元	R2	R3
					基本方針の検討	施設整備等
					設計・施設整備等	
					復興イベントの実施	
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	土木建築部都市公園課 【098-866-2035】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○R2年度： 首里社館の利便性向上のための検討業務、整備および復興イベントに取り組んだ。	
一括交付金(ソフト)						58,522	66,000	一括交付金(ソフト)	○R3年度： 首里社館の利便性向上のための検討業務、整備および復興イベントに取り組む。	

予算事業名							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○R2年度：	
									○R3年度：	

活動指標名	基本方針の検討、施設整備等				R2年度			R2年度決算見込額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合A/B			
	—	—	—	—	基本方針の検討、施設整備等	基本方針の検討、施設整備等	68.8%	58,522	やや遅れ	首里社館の利便性向上のための検討業務および大型映像装置等の整備および首里城復旧・復興に向けたイベントに取り組んだ。 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 首里城復旧・復興に向けたイベントおよび大型映像装置等の整備に取り組めた。新型コロナウイルスによる施設閉鎖や関係者調整等の遅れにより、設計業務に遅れを生じ、工事発注が遅れた。
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合A/B			

(2) これまでの改善案の反映状況

令和2年度の取組改善案	反映状況

様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・通常事業として県営首里城公園の整備が進められており、首里杜館においても長寿命化に関する改修を進めている。

○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染症の影響により、施設閉鎖や来園者の減少がある。
・首里城復興基本計画の策定が進められている。
・首里城正殿等の復旧・復興に向けた取組が行われている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・令和2年度は、首里杜館利便性向上の検討、設計、工事を行う計画となっていたが、新型コロナウイルスの影響により対面における調整が困難であったため、リモートを活用した調整等を実施し検討及び設計を行う必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・令和3年度は、適正なスケジュールにおいて設計および工事を行い、首里杜館の利便性向上を進めていく。